

交流（15）

お客様を増やすためにどのような対策がとられているのか。（名古屋市、70代男性）

〔回答〕

県営名古屋空港は、小型機の拠点空港として、コンピューター航空や、ビジネス機の利用促進に力を入れています。このため、小型機を快適に利用するための空港設備の充実を図るとともに、PR活動にも積極的に取り組んでいます。

まず、施設整備としては、国内初となる屋根つき搭乗用通路“フィンガーコンコース”を設け、面倒な上下動をなくし、ターミナルビルの入口から旅客機の搭乗口までわずか200mとしたほか、ビジネス機専用ターミナルを設け、ビジネス機利用にかかる時間を大幅に短縮しました。名古屋駅から直行バスで約20分という交通アクセスの良さと相まって、大変便利な空港になっています。

次に、PR活動としては、「便利で快適！」を合言葉に、地元自治体や経済界と連携して、ポスター・チラシ・TV・ラジオなど各種広報媒体の活用や、当地域や就航先都市でのキャンペーン・イベントの開催などにより、コンピューター路線の状況や施設の便利さ、快適さのPRに努めております。また、ビジネス機の利便性についても、世界のビジネス航空関係者が集まる国際会議を開催し、PRに努めております。

こうした取り組みの結果、開港から2年余りが経った現在、コンピューター航空については、路線数が開港時の6都市13往復から9都市19往復となり、利用者数も平成17年度の約30万人から18年度は約40万人となりました。また、国際ビジネス機については、飛来数が平成17年度の90機から18年度は約120機となり、どちらも順調な伸びを見せています。

なお、空港の利用促進のため、利用者アンケートによる利用実態調査を実施したり、空港ターミナルビル内にご意見箱を設けるなど、利用者の皆様方の声を直接お聞きするよう努めております。今後も、こうしたご意見も参考にしながら、県営名古屋空港の利便性向上と利用促進に取り組んでまいりますので、ご支援をお願いします。

【地域振興部航空対策課】

愛知環状鉄道分岐ルート構想があることを知った。開通すれば三河地域への観光や豊田市、トヨタ自動車など工業の中心へ行くのも楽になり、活性化していくと思う。（豊田市、20代男性）

〔回答〕

中部国際空港への鉄道アクセスについては、中部国際空港の整備に関連して平成9年3月に愛知県、岐阜県、三重県及び名古屋市が公表した、「地域整備構想案」において、「知多半島域内の鉄道や三河方面と結ぶ鉄道について、今後の交通需要、地域開発の動向等を勘案しつつ検討を行う」とされており。

このうち、豊田市を始めとする三河方面からのルートについては、西三河地域を中心とする地元関係者により設置されており「中部国際空港連絡鉄道建設促進協議会」（会長：安城市長）において、愛知環状鉄道線豊田・岡崎両市の市境付近から分岐し、新幹線三河安城駅を經由して中部国際空港に至るルートなど、熱心な議論が行われているところであります。

ご指摘のとおり、この構想が実現すれば、三河地域から中部国際空港への鉄道によるアクセスは、より一層、利便性の向上が図られると考えられます。

しかしながら、新しい鉄道路線の建設には、膨大な建設資金の確保や、事業採算性等、多くの課

題を解決する必要があることから、今後の航空需要や既存の鉄道アクセスの利用状況、また、事業採算性に大きな影響を与える地域開発の動向等を勘案しながら、長期的視点に立った十分な検討を要するものと考えております。 【地域振興部交通対策課】

愛知環状鉄道は開業当時から全線で複線化用地は確保されているが、まだ一部の区間で単線なので、完全複線化の早期実現を期待している。 (豊田市、20代男性)

〔回答〕

愛知環状鉄道につきましては、これまでも、利用状況、利用者の方のご要望に応えるために、一部区間の複線化・新型車両の導入など輸送力の向上や利便性の向上に取り組んできています。

いただいたご意見のとおり、完全複線化になればスピードアップや急行列車の導入も可能となりますが、複線化事業につきましては、多大な費用がかかりますので、愛知環状鉄道(株)の経営状況を視ながら進める必要があります。

今後の利用状況などを見ながら、県・関係市・愛知環状鉄道(株)一体となって、今後も引き続き、輸送力向上・利便性向上に努めてまいりたいと考えておりますので、愛知環状鉄道を始め公共交通機関を更に利用していただきますよう、よろしく申し上げます。 【地域振興部交通対策課】

国道23号豊橋東バイパスの早期開通について国に強く要望してほしい。(豊橋市、60代男性)

〔回答〕

国道23号豊橋東バイパスについては、現在、国土交通省により、鋭意事業が進められている路線であり、昨年2月には野依ICから七根ICまでが暫定2車線で供用開始がされました。残る七根ICから静岡県境で国道1号に接続する東細谷IC(仮称)についても、平成20年代前半の暫定2車線での供用開始を目標に、現在用地買収及び工事を行っていると考えております。県としても、当路線と接続します豊橋バイパス・蒲郡バイパス等と一体となり東三河地域のさらなる発展に寄与する重要な路線と考えており、豊橋東バイパスを含む全線の早期完成を、地元の市町と共に引き続き国へ強く要望して参りたいと考えております。 【建設部道路建設課】

木の枝が公道にはみ出して通行の妨げになっているところがあり、役所より指導してほしい。また、車道の端に建売の道案内看板が次々に置かれ通行の邪魔になっている。

(名古屋市、80代男性)

〔回答〕

名古屋市内の道路の管理については、県道であっても政令指定都市である名古屋市が行っておりますので、今回のご意見・ご要望については所管である名古屋市緑政土木局道路管理課(道路管理担当)及び都市景観室(屋外広告物担当)にお伝えいたしましたのでご理解ください。

なお、民地から公道にはみ出した木の枝、及び民間業者が設置する案内看板についての本県の方針を参考までにお伝えしますと、民地から公道にはみ出した木の枝がある場合、まず樹木の所有者の方に伐採をお願いしているところですが、道路の空間を侵し一般通行に支障があると判断されるのであれば、緊急避難的に道路管理者が伐採しようと考えられますが、道路の空間を侵しておらず、単に見映えが良くない程度であれば樹木所有者に対して伐採の依頼をするにとどまります。

また、民間業者が設置する案内看板等については、定期的に道路を巡回し違法物件の是正に努めております。

これからもよりよい道路行政を目指していきたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。 【建設部道路維持課、建設部公園緑地課】

芸文センターなどで楽しませていただいているが、料金設定について疑問に思う。県民の文化意識向上のためにもご配慮いただきたい。また、スペインでは「美術館の日」が定期的実施され、小中学生から社会人まで無料開放されている。ぜひそんな企画をしてほしい。

(名古屋市、70代女性)

〔回答〕

日頃より、愛知芸術文化センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

愛知県美術館では、多くの県民の皆様にご鑑賞いただけますよう、例えば全国巡回展で好評を博しました「ゴッホ展」「若冲と江戸絵画展」などでは、入館料を東京会場よりも安価にしております。

また、子どもたちの芸術文化に接する機会を増やし、親しんでもらうため、小中学生の入館を無料にしているところであります。

今後とも、県民の皆様にご美術館で楽しんでいただけますよう努めてまいりますので、ご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。 【県民生活部文化芸術課】

東海道本線、豊橋駅 - 二川駅の間に新駅の設置を豊橋市で運動を進めているが、県からの要望もお願いしたい。

(豊橋市、60代男性)

〔回答〕

県としましては、新駅の設置は公共交通の利便性の向上に資することから、重要な課題であると考えており、特に広域的交通結節点の整備と位置付けられる駅については、県は補助を行っております。

豊橋・二川間のように、主に特定の地域住民の方々にご利用になる新駅の設置につきましては、地元市町村で対応することが基本であると考えておりますが、県としましても地元から要望があります新駅設置については、東海旅客鉄道株式会社に対して、積極的に取組みや検討を進めるように要望しております。

今後とも、地域との連絡を密にして、地域の意向把握に努めるとともに、鉄道事業者に対し、新駅設置について要望してまいりたいと考えております。 【地域振興部交通対策課】

知多半島と渥美半島を結ぶ橋をかけることにより、観光面でも産業面でも大変良くなると思う。

(名古屋市、70代男性)

〔回答〕

ご提案いただきました知多半島と渥美半島をつなぐ架橋につきまして、県では、「三河湾口道路」という名で、平成10年6月愛知県広域道路整備基本計画の交流促進型広域道路に位置づけています。

「三河湾口道路」は、三河湾の環状道路構想の一部として、「伊勢湾口道路」等とともに地域整備の

骨格となる路線でありますので、引き続き、この構想の熟度を高めていきたいと考えています。
今後とも、貴重なご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【参考】愛知県広域道路整備基本計画のホームページ

愛知県ホームページ 組織から探す 県庁の組織 建設部 道路建設課
あいちの道づくり

<http://www.pref.aichi.jp/dourokensetsu/aichinomichi/kouiki/index.html>

【建設部道路建設課】

地上デジタルラジオ放送を試験的に東京と大阪ではしているが、この地域でもデジタルラジオ放送の実験（試験）をしていったほうが良いと思うので検討をお願いしたい。

（豊田市、20代男性）

〔回答〕

デジタルラジオ（地上デジタル音声放送）は、音楽など高品質音声に加えて、文字・写真などの静止画・簡易動画を含むデータ放送により多彩なサービスが提供できる新しい放送で、首都圏と近畿圏では、2003年10月から実用化試験放送が始まっています。

これらの放送は、現在のアナログ地上テレビの第7チャンネル帯を使い、東京地区では総合800W、大阪地区では総合240Wの出力で放送されています。

デジタルラジオの今後につきましては、総務省においても普及に向けた方策等が検討されておりますが、東海地区においていつから始まるかなど、具体的なことは決まっておりません。

なお、デジタルラジオは、地上デジタルテレビ放送のように、アナログ放送に取って代わるものではなく、現在のAM、FM、短波のアナログラジオ放送はそのまま継続され、それに加えて新たにデジタル方式の地上ラジオ放送が始まるということで、ラジオの楽しみ方の幅が広がるものでありとお考え頂ければ幸いです。

【東海総合通信局放送課】

SFパノラマカードはいろいろな交通機関で利用できるが、愛知環状鉄道では今後、対応の構想はあるのか。

（豊田市、20代男性）

〔回答〕

愛知環状鉄道は無人駅が多く、無人駅では僅かな列車停車時間（15秒～60秒）の間に車掌が集札業務を行っております。自動改札機設置を前提とした磁気カードやICカードを導入するためには、駅舎の改築など多大な設備投資が必要となることから、現在のところ導入できる状況にはありません。

ただ、将来的には磁気カード化・ICカード化の必要性を県としても認識しております。

ご不便をおかけしますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

【地域振興部交通対策課】

岡崎市の南公園で今年の5月ごろ、知事が植樹された記念碑があるが、周辺を含め植樹された場所を見ると、ちょっと首を傾げたくなる光景があるがこんなものなのか。（岡崎市、60代男性）

〔回答〕

愛知県では、緑化意識の高揚を計ることを目的として、例年、開催市町村等と共催で愛知県植樹祭を開催しており、式典の実施方法や記念植樹場所などについては、開催市町村と調整のうえ実施しております。

平成19年度愛知県植樹祭は、岡崎市において開催し、知事や岡崎市長を始めとする参加者による記念植樹を岡崎南公園で行い、標柱を設置してあります。

岡崎南公園は市が遊園地遊具等の更新を実施しました。そのリニューアルにあわせた周辺の植栽は市民を始め多くの人の手により行うことが意義あるものとして、植樹会場とし、その一部(8種720本)を植樹祭参加の皆様を実施していただきました。

【農林水産部農林基盤担当局森林保全課】

名鉄三河線の知立から豊田市間は単線のため、知立駅立体交差の事業の完成に合わせて複線化を検討してほしい。
(豊田市、20代男性)

〔回答〕

名古屋鉄道三河線(山側)複線化については、現在、愛知県が知立駅周辺で行っている連続立体交差事業(平成12年度~26年度)が完成すれば知立駅~三河知立駅区間は複線となる計画です。また、豊田市が三河八橋駅付近において行っている1.6kmの単独立体交差事業(平成12年度から~21年度)においても、複線化可能な構造とするなど複線化を視野に入れ、事業を行っています。

複線化を行うかどうかについては、事業主体である名古屋鉄道株式会社が、事業採算性等を考慮のうえ判断することとなります。

名古屋鉄道株式会社においては、平成18年3月に策定した「名鉄グループ新3ヵ年経営計画(平成18年度~20年度)において、「三河線(知立~豊田市間)における、高架化、複線化、高速化など、需要に応じた投資を多角的に行う」としてあります。

愛知県としましては、名古屋鉄道株式会社に対して、未着工の区間について、需要動向等をみながら早期に事業着手されるように引き続き働きかけていきます。
【地域振興部交通対策課】

我が家の地区は県営住宅から共同アンテナを引いているため、県営住宅がデジタルアンテナにしないと地上デジタル放送が見られないと言われた。ぜひ早い対応をお願いしたい。

(名古屋市、20代女性)

〔回答〕

県営住宅が建設されたことに伴い、テレビのアナログ放送の受信が困難になる地域の皆様に県営住宅に設置した共同アンテナにより受信した電波を各住宅に送信(テレビ電波障害改善対策施設)しています。現在、アナログ放送からデジタル放送への移行がなされており、名古屋地域においても、瀬戸市のデジタル電波塔からの放送が開始されており、平成23年(2011年)7月に現行のアナログ放送は終了することになっております。

デジタル放送は受信障害に強い電送方式を採用しているため、アナログ放送に比べると受信障害の改善が見込まれており、現行の対策施設によりアナログ放送を受信している世帯のうち、一部の世帯は個別アンテナによる直接受信が可能となる見込みです。

従いまして、デジタル放送への移行後、そのような世帯については、受信障害対策の必要性はなくなるものと考えられます。

しかし、デジタル放送においても引き続き受信障害が解消しない世帯（県営住宅が受信障害の要因になっている世帯）に対しては、県が、対策工事を行う予定です。

このため、引き続き受信障害が解消しない世帯がどの程度あるのか、今年度調査を行います。

この調査に基づき、現行のアナログ放送が終了する平成23年（2011年）7月までに、順次対策工事を行いたいと考えています。

なお、愛知県住宅供給公社には、お問い合わせに対して、適切に説明をするように指導しました。

今後とも、よりよい県政を築くために、県政へのご協力をお願い申し上げます。

【建設部建築担当局公営住宅課県営住宅管理室】

瀬戸市菱野・山口地区を流れる矢田川沿いは10年ほど前に県と市の提唱で植樹をしたが数年で大木となり、交通安全上も防犯上も危険。木を根元から伐採し、手入れにかかるお金はもっと都市部の緑化に充ててほしい。（瀬戸市、40代女性）

〔回答〕

御承知のとおり、河川は、洪水を安全に流すことはもちろんのこと、河川と関わる生物へ多様な生息・生育環境を与える貴重な自然空間であることから、全国的に多自然川づくりが推進されています。

本県でも、水辺にその地域に適した自然の緑の空間を形成するため、地元地域の御理解と御協力を得て「水辺の緑の回廊」事業を行っており、矢田川（山口川）については、平成9年度から平成11年度において、この事業により地元の方々に植樹を行っていただきました。

最初の植樹から10年ほど経ておりますが、樹木の繁茂の状況によっては、「交通安全」、「防犯」、「川の様子の確認」などから地域生活への配慮が必要と考えております。そのため、昨年度と本年度に地元自治区と相談し、樹木の間伐などを実施したところもあります。

河川の自然環境は、地域の方々の生活と密接に関わることはもちろんのこと、水辺の生きものにとっても生存のための大切な環境となりますので、今後も地元の方々や関係機関に御意見・御協力をいただき連携しながら、バランスある管理を行っていきたく考えていますので御理解をお願いいたします。

【建設部河川課】

東浦町から高浜市、碧南市を通る衣浦臨海鉄道は、JR東浦駅に接続しているので、利用ができるなら通学や通勤、観光などにも使えたらよいと思う。（高浜市、20代男性）

〔回答〕

衣浦臨海鉄道は、衣浦臨海工業地帯に立地する企業の貨物を輸送することを目的として整備された鉄道で、半田線と碧南線の2路線から成ります。

半田線は、半田埠頭駅からJR東成岩駅までの路線で、昭和50年11月に開業しました。この路線では、酢やコンスターチなどの貨物をコンテナで運んでいます。これらの貨物は、東成岩駅まで運ばれ、JR武豊線を経由してJR大府駅まで運ばれた後、JR貨物に引き継がれ、各地に運ばれていきます。

碧南線は、碧南市駅（臨海公園近くにサイロがありますが、そこが駅になります）からＪＲ東浦駅までの路線で、昭和５２年５月に開業いたしました。この路線では、主に碧南火力発電所から排出される石炭灰をＪＲ東浦駅まで運んでいます。石炭灰は、ＪＲ大府駅でＪＲ貨物に引き継がれた後、三岐鉄道で東藤原駅（三重県）まで運ばれ、セメント会社でセメントに混ぜる骨材として使われています。一方、セメント会社からは炭酸カルシウムが逆のルートで碧南火力発電所まで運ばれ、石炭を燃やす際の排煙脱硫剤として使われています。

このように、衣浦臨海鉄道は貨物輸送専用の鉄道であり、ご提案のありました通勤通学や観光などへの利用をするためには、行き違い設備の新設、信号設備等の改良、車両の新造等に多額な費用がかかるとともに、この地域の輸送需要に限りがあることから、旅客線化については大変難しいと考えております。

近年、鉄道による貨物輸送は環境にやさしい輸送手段として見直されてきております。この機会に衣浦臨海鉄道や鉄道貨物輸送に対するご理解を深めていただければ幸いです。

< 衣浦臨海鉄道株式会社ホームページ： <http://www.kinurin.co.jp> > 【地域振興部交通対策課】